しが旅のススメ

■ 紅葉とともにロケ地巡り

歴史、自然の魅力 再発見

日中の暑さも和らぎ、秋風や鈴虫の鳴き声に秋の訪れを感じる季節となりました。滋賀ロケーションオフィスでは一年を通じて映画やドラマなどの撮影を支援していますが、紅葉シーズンは観光客が増え、撮影の調整が難しい時期でもあります。一方で、県内各地のロケ地も美しい秋の装いを見せています。また、12月までJRグループと滋賀デスティネーションキャンペーンのプレキャンペーンも実施しております。今回は、歴史ある風景と紅葉を楽しめる二つの名所をご紹介します。



映画「ゴジラ－0・0」のサイトはこちらから

まずは、近江八幡市の「教林坊」です。こけむした巨石やかやぶき書院、趣ある庭園が広がり、まるで時代劇の世界に入り込んだかのような雰囲気が魅力です。映画「首」や「燃えよ剣」など、歴史を題材とした作品の撮影にも活用されてきました。秋には庭園が紅葉に彩られ、歴史ある建物との美しいコントラストを楽しめます。



時代劇の世界に入り込んだかのような教林坊＝近江八幡市安土町石寺で（教林坊提供）

東近江市の「百済寺」も、数々の映像作品の舞台となってきた場所です。湖東三山の一つに数えられる古刹で、広大な境内や庭園、趣ある建造物が歴史を感じさせます。近年では、ドラマ「ちるらん 新撰組鎮魂歌」や映画「木挽町のあだ討ち」などの撮影にも活用されました。秋には境内が鮮やかな紅葉に包まれ、歴史の面影と自然が織りなす景観を堪能できます。



映画「ゴジラ－0・0」のポスター

どちらも歴史ある風景が作品の世界観を引き立てるロケーションであり、紅葉の名所としても魅力的です。作品のワンシーンを思い浮かべながら訪れることで、いつもの紅葉狩りとはひと味違った楽しみ方ができるのではないでしょうか。今年はぜひ、県内のロケ地を巡り、地域の歴史や自然の魅力を再発見してみてください。

最後に、もうひとつお知らせです。11月3日は「ゴジラの日」。1954（昭和29）年のこの日に映画「ゴジラ」の第1作が公開されたことにちなみ、東宝が制定しました。今年の同日には新作映画「ゴジラ－0・0」が公開され、滋賀ロケも長浜市内での撮影を支援しました。今後は同作品との連携企画も予定しています。詳細は滋賀ロケの交流サイト（SNS）で発信しますので、ぜひご注目ください。

（滋賀ロケーションオフィス・黒瀬恵太）

◇

【アクセス情報】教林坊（近江八幡市安土町石寺）へはJR安土駅からタクシーで10分。車の場合は、名神高速道路竜王インターチェンジ（IC）より国道8号経由約20分。百済寺（東近江市百済寺町）へは近江鉄道八日市駅からバスで30分、百済寺本坊前。またはJR能登川駅からタクシーで30分。車の場合は、名神八日市ICから12分。

これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

（c）.中日新聞社　無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています